

## 国立市公共施設マネジメント基本方針（素案） に対する意見募集の結果について

実施期間：平成 25 年 1 月 25 日（金）～平成 25 年 2 月 8 日（金）

集計結果：意見提出者 2 名 / 意見項目数 10 件

意見反映状況：意見を踏まえた基本方針（素案）の修正項目 4 件

### 国立市公共施設マネジメント基本方針（素案）に寄せられた意見とそれに対する市の考え方

| No.            | 意見の概要  | 意見に対する市の考え方   | 修正の有無 |
|----------------|--|---|-------|
| 全体に関するご意見      |  |   |       |
| 1              | 用語解説は本文中に掲載した方が<br>良い。   | 本文中に掲載するよう修正いたします。  | 有     |
| 2              | 基本方針に反対。一つの偏った見方<br>の方に検討を依頼し、それをベース<br>にして案をつくることはおかしい。<br>色々な方に依頼し、様々な方策を検<br>討すべき。  | 東洋大学の研究は、客観的な資料を基に第三<br>者の視点から市の公共施設のあり方の研究を<br>委託したものです。この中で提案のあった方<br>策については、庁内の検討委員会で検討を行<br>い、基本方針策定の参考にいたしました。具<br>体的な方策については、今後も検討を続けて<br>まいります。  | 無     |
| 3              | 基本方針の理解のためには、国立市<br>公共施設白書や東洋大学の研究報<br>告書を理解する必要がある。短期間<br>にこれらを読んだ上で意見を述べ<br>るのは不可能。市報に載せ、数多く<br>の意見を聞く会を開催し、市民の間<br>での議論が必要。 | 市民の皆さんに関心を持っていただけるよう<br>情報提供に努めてまいります。  | 無     |
| 公共施設三原則に関するご意見 |  |   |       |
| 4              | 学校の複合化は反対。（複合化され<br>た）施設が遠くなれば利用されない<br>ことになる。施設の複合化で人々の<br>交流が生まれるという考えは表面<br>的な見方である。学校は子どもの教<br>育の場だけで良い。                   | 現状の施設整備の予算規模では施設全体の約<br>半分しか更新できず、大幅に費用が不足する<br>と試算されています。厳しい経済状況、更なる<br>少子高齢化の進展が予測される社会状況の<br>下でこの不足分を補うことはできません。こ<br>のため施設全体の総量（延床面積）を削減す<br>るなどあらゆる検討が必要です。学校施設は<br>敷地、延床面積とも公共施設として相当の広<br>さがあります。将来的な児童・生徒数の減少<br>に合わせて学校施設に他の機能を集約するこ<br>とで施設総量の圧縮が図れるため、検討すべ<br>き手法であると考えております。 | 無     |

| No.                  | 意見の概要  | 意見に対する市の考え方   | 修正の有無 |
|----------------------|--|---|-------|
| 5                    | 現状施設の長寿命化とは別に、更新時に長期間使えるようにしておく視点も必要である。           | 今後の取り組みの中の検討課題とさせていただきます。   | 有     |
| 6                    | 広域連携の具体的な想定はあるのか。                                  | 今後の取り組みの中の検討課題とさせていただきます。   | 無     |
| 公共施設マネジメントの手法に関するご意見 |  |   |       |
| 7                    | 「市民説明、市民理解の醸成」の項で受益者以外の考えを重視する方針が述べられているが大きな問題である。 | 広く市民の皆さんから意見を聞くという趣旨での記述であり、どちらかの意見を重視するといったものではありません。表現については上記の趣旨に沿ったものに修正いたします。                   | 有     |
| 8                    | 公民連携について良いことだらけのように表記されているがマイナス面もきちんと見るべきである。      | 更新費用の大幅な不足が見込まれる中PFI等の民間活力導入は積極的に検討していく必要がある手法と考えております。公民連携によって公共サービスの質と効率を高めるという視点に立ち慎重に検討してまいります。 | 無     |
| 今後の取り組みに関するご意見       |  |   |       |
| 9                    | 個別施設の計画策定の期間を方針に明記すべきである。                          | 今後の取り組みの中で検討してまいります。  | 無     |
| 10                   | 将来的に主要な公共施設を市内の一カ所に集約するような考え方もあるのではないかと。           | 連携が必要ないいくつかの機能を集中させることでメリットが出る場合も考えられますので、今後の取り組みの中で検討の視点のひとつとさせていただきます。                            | 有     |